

家畜飼料の完全自給を目指した給与システムの確立

【分野】畜産の生産性向上、省力化等を可能とする生産技術体系

【分類】個別型研究

【代表機関】宮崎県畜産試験場

【参画研究機関】宮崎県畜産試験場、宮崎県畜産試験場川南支場

【研究・実証地区】宮崎県北諸県郡、西諸県郡、児湯郡

1 研究の背景・課題

宮崎県は全国でも有数な畜産地帯であるものの、輸入穀類価格の高止まりによる生産コストの増加と高齢化により農家戸数は減少している。これらを解決するためには、自給飼料の積極的な利用、効率的な飼養体系の確立が重要である。そこで、本課題では自給飼料率の最も低い養豚農家向けに、飼料用米を用いた国産配合飼料による肥育体系の確立と、高齢化が進む黒毛和種繁殖農家および輸入穀類を多給する酪農・肥育牛農家向けに飼料用米を主体とする発酵混合飼料による飼料の一括調製・供給体系の確立を目指す。

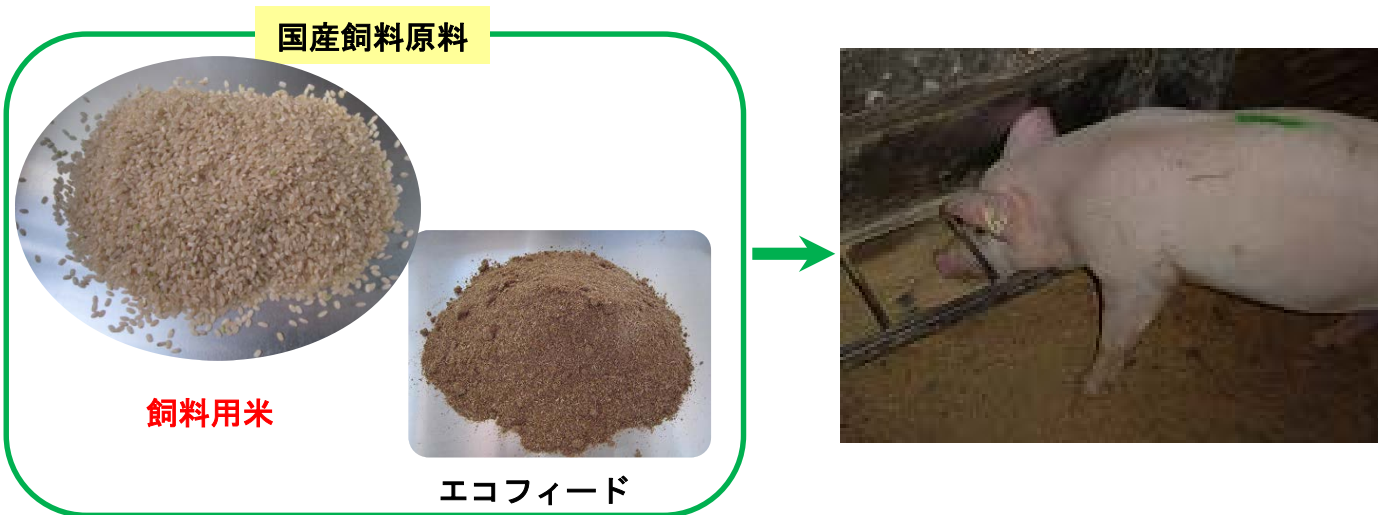
2 研究の目標

- 肥育豚向け飼料用米主体国産配合飼料の開発により、飼料コストを10%削減
- 繁殖牛向け発酵TMR(完全混合飼料)の開発により、維持期の生産コストを10%削減
- 肥育牛向け飼料用米主体発酵TMRの開発により、肥育中後期の飼料コストを10%削減
- 搾乳牛向け飼料用米主体発酵TMRの開発により、泌乳中後期の飼料コストを10%削減

3 研究計画の概要

1 豚の飼料用米を活用した完全国産飼料の確立

1-1) 豚への給与試験



1-2) 完全国産飼料による肥育実証試験

エコフィードセンターでの調製・供給

国産飼料による肥育体系の確立

2 牛の飼料用米を活用した完全国産飼料の確立

2-1) 繁殖牛への給与試験

国産飼料原料



烧耐粕



自給粗飼料+飼料用米



発酵TMRの調製

混合



発酵

国産飼料による
繁殖牛向け発酵TMRの開発

TMRセンターでの
調製・供給

2-2) 農家現場での実証普及

繁殖牛用発酵TMRによる給与体系の確立

2-3) 肥育牛への給与試験

国産飼料原料



飼料用米



烧耐粕



自給粗飼料

肥育牛向け
自給飼料主体
発酵TMR調製



国産飼料による
肥育体系の開発

2-4) 搾乳牛への給与試験

国産飼料原料



飼料用米



自給粗飼料

搾乳牛向け
自給飼料主体
発酵TMR調製



国産飼料による
給与技術の開発